

桑川麻里生さんと考える 【オリンピックと人間のダイナミズム】



講師

慶應義塾大学文学部教授、
アート・センター副所長、
ゲーテ自然科学の集い代表

桑川 麻里生 Mario KumeKawa

スポーツの思想の過去・現在・未来

「スポーツ」は19世紀末、世界の表舞台に突然、登場し、たちまちにして最も重要な大衆文化となりました。今日サッカーのスーパースターたちは合衆国大統領より有名かもしれません。一方、人類は古今東西、おそらくは数万年以上にわたって“身体を使った遊び”に親しんできました。「オリンピック」は古代ギリシャ以来、3000年の歴史を持ちます。なぜ、この100年間、われわれ人類はとりわけスポーツに熱狂しているのでしょうか。

間もなく開催される東京オリンピックを前に、「スポーツ」というものは人類にとって何なのか、「スポーツ」は人類をどう変えたのか、われわれをどこに連れて行こうとしているのか、考えてみたいと思います。

5/9 土

14:00-17:00

1 **スポーツの起源**
近代英国の風景

“sports”という言葉は17世紀の英国で生まれ、広く使われ始めた言葉です。スポーツという営みは、単に「体を使った遊戯、競技」というだけでなく、近代文明またイギリス文化の特徴が濃厚に取り込まれた文化と思想の現象でした。「スポーツ」とはそもそも何なのでしょう。どこでどのようにして生まれたものなのでしょう。歴史的考察から説き起こします。

6/13 土

14:00-17:00

4 **アメリカン・スポーツヒーロー**
「観るスポーツ」の誕生とメディア

19世紀末、新聞や雑誌の急速な発展とともに「観るスポーツ」や「スポーツを語る」文化が登場し、たちまち人々の重要な娯楽になっていきます。やがては、スポーツはそれぞれの「国家」のイメージを代表するようなものにさえなっていました。その主たる舞台となったアメリカと、「スポーツヒーロー」を生み出したボクシングの歴史をふり返ります。

5/16 土

14:00-17:00

2 **オリンピックとは何か**
「肉体の宗教」としてのギリシア神話

もうすぐやってくる2度目の東京オリンピック。しかし、「オリンピック」とはそもそも何なのでしょう？ われわれが知っている「五輪」の競技大会と、古代ギリシアのそれとは、どこが同じで、どこが違うのでしょうか？ 紀元前のスポーツ選手たちもメダルを目指して必死に戦ったのでしょうか？ 3000年を隔てた考察から、「オリンピック」の本質を見つめ直します。

6/27 土

14:00-17:00

5 **日本人の身体とスポーツ**
福澤諭吉と嘉納治五郎

日本にとっても「スポーツ」は近代の現象でした。近代社会の中でのスポーツの重要性にいち早く気づいていたのは、他でもない福澤諭吉でした。またNHK大河ドラマでも話題になった嘉納治五郎は、伝統的な「柔術」を近代スポーツとしての「柔道」に作り替えました。ふたりを話題の中心に、江戸期までと近代の日本人の身体感を比較考察します。

5/30 土

14:00-17:00

3 **体操とスポーツ**
「英国病」としてのフットボール

「スポーツ」は17世紀英国で成立したのですが、“身体を用いた遊戯”は世界各地どこにも存在します。たとえばドイツには、「体操（トゥルネン）」がありました。なぜ、ドイツ語圏は「スポーツ」ではなく、「体操」を生み出したのでしょうか。スポーツと体操は、いつどのようにして出会い、どのように結びついていったのでしょうか。近代ドイツの歴史とともに紐解いてゆきます。

7/11 土

14:00-17:00

6 **「超人スポーツ」の未来**
「障害者」か、「超人」か？

スポーツは、科学的に人間の肉体をコントロールしようとする営みでもあります。そこでは、人間の「身体」のイメージと意味が激しい変容を受けます。スポーツによって、人間はどのように変わってきたのでしょうか。われわれの未来に待ち受けているのは、「スーパーマン」なのでしょうか、「サイボーグ」なのでしょうか、それとも……？

モハメド・アリに会った男

講師の糸川麻里生さんは、近現代ドイツ文学・思想とともにスポーツが専門です。活動の原点となったのがモハメド・アリの存在でした。

「モハメド・アリは、私という人間を構成している要素のうち20%ほどを占めているのではないのでしょうか。幼い日、アリに与えてもらった心の輝き、感動、納得は、今でもまったく変わらず、私の人生の土台です。」と糸川さん。

1988年には当人との面会が実現。「アリに会った若者」としてボクシング雑誌で仕事をスタートし、現在に至ります。戦争に反対し、チャンピオンベルトも、プロボクサーライセンス(つまり職業)も、市民権もすべて失ったアリが、それでも貫いた信念とは何だったのか。そういう問いは糸川さんの文学研究にとって最も大切なことでした。

開催概要

日程	2020年 5/9、5/16、5/30、6/13、6/27、7/11 (すべて土曜日)
回数	6回
時間	14:00-17:00 (3時間)
定員	25名
会場	慶應丸の内シティキャンパス
参加費	110,000円 (消費税10%込)
おすすめしたい方	◎オリンピックとスポーツの歴史や文化・経済的意味を理解し、さらなる可能性を探りたい方 ◎東京オリンピックを機に、スポーツと人間、社会、あるいはご自身との関係を多面的に広げ、楽しみ方を深めたい方

講師プロフィール

糸川麻里生 (くめかわ まりお)

1962年栃木県生まれ。慶應義塾大学文学部大学院文学研究科(独文学専攻)後期博士課程退学。『ワールドボクシング』記者、上智大学専任講師を経て、慶應義塾大学文学部教授。公益財団法人ドイツ語学文学振興会理事。専門は、近現代ドイツ文学・思想、文化史、スポーツ史。

■著書(共編、翻訳)

『サッカーのエスノグラフィーへー徹底討論!民族とメディアとワールドカップ』(社会評論社)

『ピッチサイドの男』(三修社)

『サッカー審判員 フェルティヒ氏の嘆き』(三修社)

FAX申込書 FAX 03-5220-3129

必要事項に記入の上、FAXにてお送り下さい。

※お申し込みの際は末尾のキャンセル規定・諸注意を必ずお読み下さい。
本申込書の受領をもってその内容を承諾いただいたものとみなします。

インターネットでのお申し込みは

<http://www.sekigaku-agera.net/>



参加者

講座名	糸川麻里生さんと考える 【オリンピックと人間のダイナミズム】	<input type="checkbox"/> agoraメンバー シップに申し込む
会社・ 団体名		
所属		
フリガナ		
氏名		
住所 (資料送付先)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 (いずれかにチェックを入れて下さい) 〒	
TEL	-	-
FAX	-	-
e-mail		

■キャンセル規定・諸注意

キャンセルのお申し出をされた場合、下記規定に基づきキャンセル料をお支払いいただきます。いかなる場合も、参加費の振込のないことをもってキャンセルとはみなしません。キャンセルの際は必ずご連絡ください。◆開講28日前まで：キャンセル料は発生しません。◆開講27日～21日前まで：参加費の30%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講20日～14日前まで：参加費の50%をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆開講13日前以内：参加費の全額をキャンセル料としてお支払いいただきます。◆お申し込み日を含む8日間以内にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、開講までの日数にかかわらずキャンセル料は発生しません。◆当方の都合でプログラムを中止する場合は全額返金いたします。

個人情報の取扱いについて(必ずお読みください)

ご参加のお申し込みにあたり、お客様から氏名、住所等の個人情報のご提出をお願いしております。以下のサイトをご確認の上、ご同意いただける場合のみ、個人情報の提出をお願いします。また、お申し込みをもって下記にご同意いただいたものとみなします。

<https://www.keiomcc.com/privacy.html>

なお、Webを見ることができない場合、または上記に関するご質問等ございましたら、右記までお問い合わせください。

支払方法

支払名義	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 法人
支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込 (振込手数料ご負担下さい) <input type="checkbox"/> クレジットカード

割引制度 (個人申込のみ・10%)

<input type="checkbox"/> 複数申込割引 下記に他講座名を記入して下さい []
<input type="checkbox"/> 継続受講割引
<input type="checkbox"/> 慶應カード割引

■割引制度(個人) 夕学五十講、クロッシングは慶應カード割引のみ適用

【継続受講割引】

◆3月31日まで：10%-20%割引

取扱価格が10万円を超える知的基盤能力プログラム(※4月以降ビジネスコアプログラムに名称変更)およびagoraを一人で複数同時に申し込んだ場合参加費が20%割引、それ以外の組み合わせは10%割引となります。

◆4月1日以降：10%割引

ビジネスコアプログラム、先端・専門プログラム、agoraから一人で複数同時に申し込んだ場合、参加費が10%割引となります。

【継続受講割引】過去に慶應MCCのプログラム・講座に参加し、終了日より1年以内に申し込んだ場合、参加費が10%割引となります。過去に法人で参加した方も、個人で参加する場合は対象となります。

【慶應カード割引】慶應カード会員の方が個人で支払われる場合に限り、参加費が10%割引となります。慶應カードとは、慶應義塾とクレジットカード会社との提携クレジットカードです。塾員・教職員および学生を対象としています。

お問い合わせ先

東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階
株式会社慶應学術事業会
TEL:03-5220-3111 E-mail:info@keiomcc.com

今後慶應MCCより各種情報をご案内させていただきます。ご不要の方は右記にチェックをお願いいたします。